広報

いいたて 12

令和元年12月号
No.670

ご当地アイドル♥を発見！

特集

きらり☆いいたて 秋のアルバム

0歳から89歳まで つながるPOWER

大いなる田舎
までいライフ
いいたて

www.vill.iitate.fukushima.jp

きらり☆いいたて 秋のアルバム

いいたての人の魅力をつづりました

きらり☆いいたて 秋のアルバム

つながるPOWER1 ★ いいたてっ子発表会「赤蜻祭」　0歳から15歳
つながるPOWER2 ★ ふくしま駅伝　12歳から37歳
つながるPOWER3 ★ 農業者等との意見交換会　18歳から79歳
つながるPOWER4 ★「復興隊」の仕事おこし　57歳から78歳
つながるPOWER5 ★ いいたて村文化祭&秋まつり　0歳から89歳

今月の1枚

地域づくりに力を合わせ、さまざまな地域おこし事業を行っていた前田地区。震災前からそばの生産も盛んで、そば打ちの会も行われていました。そばの生産は昨年から再開。今年の新そばをそば粉にして、販売を始めました。

前田明神そば生産組合

前田字古今明305番地
☎/FAX 0244-42-1374

「いいたて村の道の駅までい館」の直売所で販売しています。
※品切れの場合はご容赦ください。

前田明神そば
1袋 500g／600円（税込）

この秋収穫したばかりの薫り高いそば粉。挽きたてを真空パックにしています。前田地区のそば文化を伝える逸品です。

パッケージにもある前田地区のそば畑。青空の下、高原の風に吹かれる満開のそばの花です。

12

CONTENTS 目 次

3　特集　きらり☆いいたて 秋のアルバム
14　飯舘百景　秋に染まる いいたて
16　教育委員会NEWS!　メリットを生かす教育内容
18　教育のページ　小学校の秋だより ほか
20　お知らせのページ　第６次総合振興計画
22　ほけんとふくし　認知症サポーターになりませんか
24　いいたて便り
26　話題のパレット
27　そのこころはっ ほか
28　おしらせのページ　11月のできごと ほか
29　入札結果
30　きてみて ／ラオス通信。
31　こころのぽけっと ／ ひとのうごき
32　ホープス ／ 編集後記

※シリーズ「復興対策課の挑戦」はお休みします。

そろいの衣装を身に着けて軽やかに舞う「秋田大黒舞」。息の合った踊りはアイドルグループさながらです。「とうほう・みんなの文化センター」で開かれる県の芸能発表大会に向けて練習していたのは飯舘村老人クラブ連合会の皆さん。本番の模様は１月号で紹介します。

●表紙のおはなし●

いいたてっ子発表会「赤蜻蛉祭」

10月26日、飯舘中学校の体育館で、こども園・小学校・中学校合同の発表会が開かれました。発表は、こども園の0～2歳児クラスからスタートし、小学生、中学生と続きました。どの発表も発達段階の特性を生かした素晴らしい内容で、成長を重ねる子ども達のパワーと、互いを尊重して学び合う姿に、観客席は感動を深めていました。

age 出演は 0歳から15歳

つながる POWER 1

園児・児童・生徒の手型で翼を表現。中学校のビジュアル・アート部が制作したビッグアート

いいたてっ子発表会「赤蜻蛉祭」

村内に学校が戻り、認定こども園が開園した昨年度から、園と小中学校が合同で開いている発表会です。避難先で小学校が3校合同の発表会として始めた「いいたてっ子発表会」、飯舘中学校が避難の間も継続してきた「赤蜻蛉祭」の名称を引き継いでいます。

実行委員長
大谷哀斗（ないと）さん
飯舘中学校３年生

これまでの中学校生活で、自分自身で「満足だ」と思えたのは、この文化祭が初めてです。すごく満足です。飯舘中のすごいところを、皆さんに見せたい、見せられると思ってやってきました。頑張ってきたことをお見せすることができて、「よくやった」と声をかけていただいて、感動しています。

この飯舘中が、僕は大好きです。

小学校代表であいさつ
礒山姫夢（ひな）さん
草野・飯樋・臼石小６年生

観てくださった皆さんに、私達の想いは伝わりましたか。私達は、(それぞれの発表に)想いをこめることができました。

この発表会を通して生まれた私達(こども園・小学校・中学校)のつながりを、これからも大切にしていきたいと思います。

熱き想いが伝わる 渾身のステージ

「支援してくださった方、ご来場くださった方に、感謝を伝えたい。そして笑顔になっていただきたい」。大谷哀斗実行委員長のこの言葉で幕を開けた発表会。会場は、園児の愛らしい演技で笑顔に包まれ、また、小学生の一人ひとりが輝く発表に感嘆の声をあげ、さらには、一人何役もこなしつつ、それぞれの発表をやり遂げる中学生に、大きな拍手を送りました。

そして、想いはしっかり届いていたようです。会場を後にする人達は、異口同音に、「来てよかった。午前中だけの予定だったのに、あまりに素晴らしくて最後まで観た」「涙が何度も流れてきた。感動だね」と言葉を交わしていました。

ふくしま駅伝

第31回市町村対抗 福島県縦断 駅伝競走大会

age 選手は 12歳から37歳

11月17日、第31回市町村対抗県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が、白河市をスタートし、福島県庁前までの16区間、94・8㎞で行われました。村は、中高生を中心とした若いチームで臨み、全区間を力強く走り抜きました。結果は、記録6時間23分23秒で総合順位53位。村への想いを胸に走り抜いた選手達のレースを振り返ります。

ふくしま駅伝 飯舘村チーム

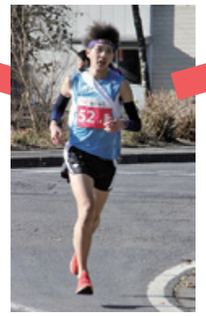
10連覇を含む13回の村の部優勝という記録を持つ飯舘村。震災後も避難先から選手が集まるなどして、2度のオープン参加を経験しながら単独チームでの出場を続けてきました。若い選手の積極的な参加に支えられ、今年も熱い走りで村民を勇気づけました。

1区

2区

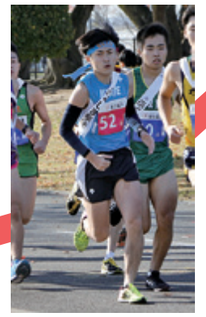
3区

4区

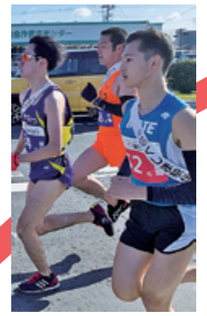


神代優太 選手
駅伝に参加し、高校でも陸上を続けている。駅伝がなかったら今の自分はいない。

5区



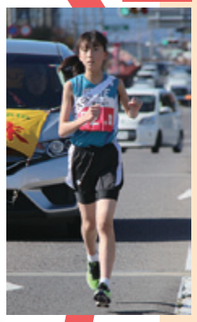
6区



7区

8区

9区



10区

細杉睦輝 選手
中学時代に参加した駅伝が人生を変えてくれた。次回大会に向けて、区間賞を取りに練習していきたい。今大会で終わりたくない。

11区

12区

13区

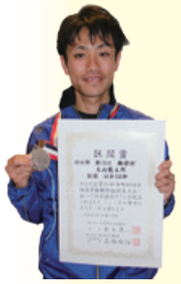
14区

15区

16区

チームメンバー（敬称略）
総監督　林英滋（濱田建設）
監　督　佐藤彰洋（南相馬消防署）
コーチ兼16区　高橋良太（飯舘中教員）
コーチ　向井敏（飯舘中教員）
コーチ兼主将・13区　大内龍太郎（飯舘村社会福祉協議会）
1区　佐藤ちさと（日本文化大3年）
2区　佐藤優也（松韻学園福島高3年）
3区　菅野翔（飯舘中3年）
4区　神代優太（福島商業高2年）
5区　菅野龍聖（福島工業高3年）
6区　髙橋大河（福島商業高1年）
7区　川井泰智（飯舘中2年）
8区　渡邊諒介（飯舘中2年）
9区　木幡娃佑（飯舘中1年）
10区　細杉睦輝（工学院大学1年）
11区　大東かりん（福島東稜高2年）
12区　大内匡泰（菊池製作所）
14区　齋藤幸成（川俣高3年）
15区　赤石澤歩美（飯舘村役場）
補欠　飯畑友貴（南相馬消防署）
補欠　赤石澤愛（飯舘村役場）
補欠　渡邊凜（飯舘中1年）

村の部・区間賞！



震災以降、結果が出せていなかった中で、区間賞を取ることができた。駅伝を始めた中学生の頃は走力が不足していたが、続けることで力をつけてこれた。中高生にもぜひ続けてほしい。これからも、村のチームで走り続けたい。

大内龍太郎 選手
中学生から18回出場！

村のタスキが仲間の想いをつなぐ

大会前の結団式で、「選手の名前を呼んで応援してほしい。応援が力となり背中を押してくれる」と呼びかけた林総監督。その言葉に応えるように、「52」のゼッケンを胸に走る村チームのランナーには、沿道から大きな声援が送られました。

放課後や休日に、「いいたてスポーツ公園」などで練習に励んできた中学生選手も、大会に駆けつけた「ふるさと選手」も、声援に応えて、懸命の力走を繰り広げました。

そして、全選手が完走ー。

解団式では、関係者が選手の健闘をたたえ、選手もまた一人ひとりが、家族・スタッフ・関係者に感謝を伝えました。佐藤監督は、「選手が本当によく頑張ってくれた。次回以降の大会にも出場したい。走ることが好きな仲間と一緒に走り続けたい」と、力強く来年への抱負を語りました。

つながる POWER 2

農業者等との意見交換会

11月3日に宿泊体験館「きこり」で開かれた、今年度の「農業者等との意見交換会」。村で農業活動を行う東京大学・明治大学・福島大学の活動報告、農業集団化に挑戦している13区営農組合の事例発表が行われ、参加者も意見を述べ合いました。続く懇談会では、新たな取り組みを行う若者と村の農業者が、さらに対話を深めていました。

age 参加は18歳から79歳

新しい事例の報告と意見交換が行われた後に、参加者が交流した懇談会の様子です。テーブルには軽食と飲み物の他、参加者が持ち寄ったそばやローストビーフが置かれ、フリートークに花が咲きました。村に関わる学生と大学関係者、農業者と農業委員が入り混じって、互いの取り組みや考えを語り合いました。

13区営農組合

東大むら塾

つながる POWER 3

「東大むら塾」が種まき、刈り取りをした村内産のそばも振る舞われました。参加した学生達の手打ちです。

東大むら塾
吉良倫太郎さん
飯舘村プロジェクト代表

学生の力だけで劇的に村を変えることはできません。けれど学生だからこそできることがあるのではないか、外から来たからこそ気づける魅力があるのではないかと思っています。そして一番大切にしたいのは継続性です。代替わりをしても、責任を持って長期的に関わっていきたいです。

農業者等との意見交換会

農業委員会が、年度ごとに開いている「農業者等との意見交換会」。震災直後の厳しい状況においても、農業者が意欲を振り絞り、その時期その時期の取り組みや将来の夢を語り合ってきました。近年は実証の成果の共有や、事例の紹介にも力を入れています。

懇談会で振る舞われたのは、山田豊さん（農業委員/関根・松塚）が育てた黒毛和牛のローストビーフ。山田さんが避難中に勤務した京都市の精肉店が調理。極上の味わいに参加者が舌鼓。

相双農林事務所
農業振興普及部長
小久保仁子さん

以前から県内屈指の活動を行っていた飯舘村農業委員会が、（震災後の避難を経て）現在もこのようなつながりを維持していることに敬意を覚えます。若い視点・外からの視点にも、大きな期待を感じました。また、13区営農組合の取り組みはモデルケースとなるもので、県としても協力していきたいと考えます。

交流から生まれた風を明日への力に

学生の中には「村に一目惚れした。第二の故郷にしたい」という人も。村民が「大いに歓迎。村民から学ぶ姿勢を持っていい関係を築いて」「感動して涙が出そう。若い人が来て熱を発してくれることがうれしい」と応じていました。大学のつながりで、弘前大学、京都大学、佐賀大学の学生らも参加し、学生達が前日に「いいたて愚真会」と手打ちしたそばも振る舞われました。

そして、13区営農組合の報告も、先進的で学びの多いものでした。「他の行政区の参考になる」「よく調整した。上飯樋の強さだ」と声があがりました。

菅野啓一会長（比曽）は盛会に感謝し「村民が安心して村に帰れるよう取り組んでいきたい。そして学生の皆さんには、村が頑張っている姿を世界に発信してほしい。これからもまでいに付き合おう」と呼びかけました。

大久保・外内「復興隊」の仕事おこし

age 隊員は 57歳から78歳

11月6日、大久保・外内行政区「復興隊」の皆さんが、農地で作業を行っていました。収穫したエゴマをきれいに洗いネットに広げて乾燥させたり、大豆をさやから外したり。協力しながら、おしゃべりしながら、とても楽しそうな作業風景でした。地域のつながりを大切に、新しい活動をていねいに育んでいます。

地域の人間関係の中で、楽しくやりたいね。あははおほほと笑って話しながら。帰って来ている人は高齢者が多いから、健康でいられるよう、集まって、仕事して。その中で、いいエゴマをつくっていこうと思う。手仕事のよさを生かして価値あるものをつくっていきたい。

復興隊　隊長
長正増夫さん
（大久保・外内行政区長）

「復興隊」の想いが伝わる 広がる

「復興隊」は、一歩一歩、活動の幅を広げて、進化しています。互いをよく知る者同士、得意な仕事を生かし合って、楽しそうに作業をしていました。きっと、よりおいしく質の高い製品が生まれてくることでしょう。

11月4日の集会で、村民と料理をしていた「コミュニティスクール・まちデザイン」の方が、「村の人は大変な中でもつながり合って頑張っている。いつか、『あの時頑張ったから、もともと以上になりました』と振り返りたいですね」と涙を流しました。村民が支え合い前を向く姿は、共感と応援の輪も広げています。

そして、地域で穫れた小麦を使い、みんなで打ったうどんは絶品！エゴマをすり鉢ですると手作りした料理も何ともぜいたくな風味と味わいで…。みんな笑顔でくつろいで、農村のよさが輝いた1日でした。

つながる POWER 4

エゴマの和え物・柿

復興隊（大久保・外内行政区）

「復興隊」の活動は、足掛け3年目。地区の有志が、毎週集まり草刈りを行っていたのが始まりです。去年からは土地を確保して、大豆や小麦、エゴマなどの雑穀を栽培。今年は栽培面積を増やして、エゴマやエゴマ油の商品化にも取り組んでいます。

みんな、いっしょに

小麦の香る手打ちのうどん

11月4日の行政区の集会。地区で栽培された小麦でうどんを打ち、エゴマのたれをかけ、みんなで味わいました。かねてから交流のある「NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン」（東京都）も参加し、共に調理をする中で、エゴマ料理のレシピを紹介。地区で不耕起栽培等の実証を行う福島大学食農学類の活動報告もありました。

エゴマ、こちらでは「じゅうねん」ですね、健康ブームもあり脚光を浴びています。村には地のものとして、小さい頃から当たり前にあったのでしょうね。こういう地域コミュニティがあって、女性が明るいのがいいですね。楽しかったです。元気をもらいました。

NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン
理事長　近藤恵津子さん
（食育プロデューサー）

いいたて村文化祭&いいたて秋まつり

age 出品は0歳から89歳

第36回「いいたて村文化祭」は、「ともに広げよういいたての和」をテーマに掲げ、10月26・27日に開催されました。中学校体育館を会場にした「総合文化展」には、各種団体・個人の作品、こども園・小学校・中学校などの作品が並び、多くの人が鑑賞しました。多彩なステージ発表は27日に交流センター「ふれ愛館」で行われました。

木幡英子さん（草野）
「シャドーボックス」を
出品し村長賞を受賞

シャドーボックスは2年程続けています。切り絵や折り紙、縫い物やレース編みなども好きですね。少しも飽きません。嫁ぎ先で家業に励んでいた頃は、夜に家族の縫い物や編み物をしていました。今は手先を使うことで、できるだけ健康でいたいとも思っています。

精巧な作品、シャンとしたお姿からは信じ難いのですが、現在89歳。１月には90歳を迎えるそうです。

コピーした図柄を丁寧にカットする繊細な作業。これを６枚から10枚程度重ねて奥行きを表現します。

製作中の作品

つながる POWER 5

いいたて村文化祭

36回目の開催となった文化祭。全村避難の間は、福島市内でも開催しました。毎年、村民の優れた手工芸品や芸術作品が出品され、ステージでは伝統芸能や文化サークルの発表が行われています。

いいたて秋まつり

27日には、会場の交流センター「ふれ愛館」の前庭で、「いいたて秋まつり」が同時開催されました。商工会がもちまきを行った他、団体・個人の協力による飲食コーナーも設けられ、家族連れなどでにぎわいました。

つながっていこう前を向いて

手型が愛らしいこども園０歳児の作品から、89歳の木幡さんの洗練された秀作まで、文化祭の「総合文化展」には、多様な年代の多彩な作品が並びました。どの作品にも、作り手の「手」のあたたかさが感じられ、飯舘村のよさがあふれていました。

ステージにも、文化祭を盛り上げようと、団体・個人が出演し、日頃の取り組みの成果を披露しました。小学生の「沖縄までいの旅」、中学生らの「未来への翼・北欧研修」の報告会も行われ、それぞれの言葉で旅の実りが語られました。

「秋のアルバム」は、いかがでしたか。子どもから高齢の方まで、本当にたくさんの方がキラリと輝いた秋でした。それぞれの想いが重なると、大きな力になるのだと、改めて気づかされます。この力を、次のステップへ。「つながる力」を世代を越えてつないでいきましょう。

飯舘百景

秋に染まる いいたて

毎年のことではありますが、秋が深まってくると、村全体が秋の絵筆に染められて、その色が、1日1日と変化していきます。夏の緑豊かな景色からは、想像もつかないようなカラフルさ（こんなにもいろいろな種類の木が混在して生えているのだと気づかされます）。霧をまとう朝もあり、抜けるような青空に映える日もあり、秋景色は本当に格別です。

全村避難が6年間にも及んだことで荒れてしまった風景も、住宅や庭の手入れが進んだり、農地保全の活動が行われたりする中で、一歩一歩、美しさを取り戻しています。

村を訪れた村外の方は、この自然の豊かさや、里山の風情、空の美しさ、夜空の星の素晴らしさなどが「心が染みる」と言います。それは、避難を経験した村民の多くが改めて感じていることではないでしょうか。

身近な秋景色を集めてみました。忙しい毎日を送っている方も、時にはほっと、四季の移ろいに心を寄せてみませんか。

義務教育学校のメリットを生かし「生きる力」を育みます

教育委員会NEWS！ No.7

令和2年度に開校する義務教育学校「いいたて希望の里学園」の教育内容の概要について全3回にわたってお知らせします。

義務教育学校のメリットを最大限に生かし、いいたてっ子の「生きる力」を育むために、以下の取り組みを重点的に行っていきます。

飯舘村教育委員会 学校教育グランドデザイン

教育目標 竹のようにしなやかに、すくすくと

重点目標
- しなやかな心、しなやかな思考と行動力の育成（徳・知）
- すくすくと伸びる学力、すくすくと成長する健全な心身の育成（知・体）
- しっかりと根を張る自立心、まっすぐな心での仲間や地域との共生（知・徳・体）

「生きる力」を育む

知 確かな学力の育成	徳 豊かな心の育成	体 健やかな体の育成
こども園：幼児期にふさわしい豊かな表現力と思考力を育む	幼児期にふさわしい道徳性を育む	幼児期にふさわしい健康・安全に関する習慣や態度を育む

義務教育学校のメリットを生かした教育活動の推進

★前期課程から一部の教科で教科担任制
★前期・後期課程相互乗り入れ指導
★学年縦割り活動の充実
★前期課程から部活動へ参加
★「ふるさと科（仮称）」における地域に根ざした系統的・体系的なふるさと教育の充実

●個に応じた指導の充実	●心の教育の充実	●体力・運動能力向上策の推進
●キャリア教育・国際理解教育・情報教育の推進	●組織的・体系的な生徒指導	●健康教育の充実
●安心して学べる環境・学びの基盤づくり	●芸術・文化教育の推進	●安全教育の充実

信頼される学校づくり
- ●学校評価による校務運営改善
- ●家庭・地域・外部機関との連携の推進
- ●教職員の資質・指導力の向上
- ●安心・安全な教育環境の整備

メリットを生かして その1

義務教育学校のメリットを生かす①

「ふるさと科（仮称）」における地域に根ざした系統的・体系的なふるさと教育の充実

●ふるさと飯舘村のことを学ぶ新しい教科を設定します。
●ふるさと飯舘村の人、物、自然、文化、歴史、産業などについて学ぶことを通して、村についての理解を深めます。

村への誇りを持てるようにします！

知 確かな学力の育成

義務教育学校のメリットを生かす②

★前期課程から一部の教科で教科担任制
★前期・後期課程 相互乗り入れ指導

※前期課程→現在の小学校課程
※後期課程→現在の中学校課程

●５年生から一部の教科において専門の免許を持つ教員による教科担任制を採用します。７年生（中学１年生）からはじまる教科担任制への緩やかな対応を図ります。
●前期（１～６年）・後期（７～９年）課程の教員が相互に乗り入れ授業を行います。それぞれの良さを生かして指導します。

中１ギャップを解消します！

個に応じた指導の充実

●少人数での学びの利点を生かし、一人一人へのきめ細やかな指導で基礎基本の確実な定着を図ります。
●学力の調査・分析を９年間継続して行い、学習状況を的確に把握します。９年間を見通した個に応じた指導に生かします。

学力の向上を図ります！

キャリア教育・国際理解教育・情報教育の推進

●自分らしい生き方の実現を図るために、様々な人の生き方に触れる機会や職場体験活動を充実させます。
●外国語指導助手（ＡＬＴ）と教科担任が外国語の授業を行います。ＡＬＴと日常的に英会話を楽しむことができます。
●パソコン、タブレットを活用した授業により、児童生徒の興味・関心を高め、主体的な学習を展開します。

社会の変化に対応する特色ある教育を推進します！

安心して学べる環境・学びの基盤づくり

●ユニバーサルデザイン※の考えを取り入れた学級・授業づくりに努めます。
●読書活動の充実や図書資料の効果的な活用を図り、児童生徒の読書意欲の向上や読書習慣の形成に努めます。

学びの環境を充実させます！

※特別な教育的支援を必要とする児童生徒を含めた全ての児童生徒にとって生活しやすい学級、分かりやすい授業のことを意味します。

いせひでこさん 柳田邦男さん 特別授業「モッコの物語」

11/18～20

絵本作家・いせひでこさんと、写真家・柳田邦男さんが、小学校で特別授業を行いました。授業では、「モッコの物語」を聞いた児童が、木の枝やダンボールなどを使って、登場人物のモッコを、自由に表現しました。お二人は、児童のイメージがふくらむように、優しくそっと言葉をかけていました。

村役場を訪問

2年生が来てくれました

11/21

2年生が、生活科の授業の一環で、村役場を訪問。各課を回り、自分の言葉で質問をして、一生懸命メモを取っていました。「今大変なことはなんですか」「イイタネちゃんの他にも村のキャラクターはいますか」「道の駅の公園はどんな公園になりますか」などの質問に、菅野村長や職員が笑顔で答えていました。

持久走記録会

走るのも応援も全力で！

11/8

「今までの自分に勝とう」と誓い合い、低・中・高学年に分かれて、いいたてスポーツ公園を力走しました。なんと！記録会では、全員が自己ベストを更新しました。

もちつき体験

力を合わせて

11/9

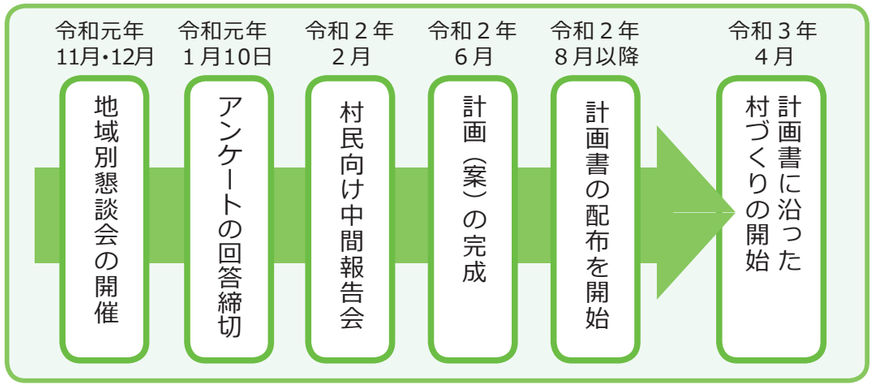
地域のボランティアや保護者の皆さんの協力のもと、「もちつき体験」を楽しみました。重い杵に手を添えたり、順番を先にしてあげたりと、上級生が下級生を上手にリード。力を合わせて、元気にもちをつきました。ランチルームで並んで味わったつきたてのもちは、格別のおいしさだったようですよ。

よりよい計画づくりに
皆さんのご意見を!

第6次総合振興計画

村民アンケートへのご協力をありがとうございます。計画策定に向けて、話し合いを本格化させています。

※現在はここです



アンケートを実施しています

第6次総合振興計画の策定に向けて、９月に配付した「村民アンケート」。ご回答いただけましたでしょうか。10月下旬に一次締切を行いましたが、皆さんのご意見をより多くお寄せいただきたいと考え、１月10日まで期日を延長して回収を行っています。

アンケートは、中学生以上を対象に、郵送でお送りしています。一人でも多くのご協力をお願いします。

アンケートの集計結果は、まとまり次第公表する他、懇談会の資料などにも活用します。

第2回計画策定委員会

11月15日の第2回計画策定委員会の様子

第6次総合振興計画策定委員会は、村民・有識者・役場職員などで構成されています。11月15日に開かれた２回目の会議でも、村づくりのアイデアが活発に交わされました。今後は、アンケートの結果や専門部会・地域別懇談会の協議内容なども踏まえて、議論が深められます。※村民の傍聴が可能です。事前に電話でお申し込みください。次回は１月24日(金)午後６時30分からを予定しています。　　総務課企画係☎0244-42-1613

専門部会の話し合いを行っています

専門部会の話し合いも始まっています。各部会には、計画策定委員会の委員も分散して加わっています。12月1日には、４部会合同で三島町を訪れ、地域づくりの事例を視察しました。

＊4つの専門部会と話し合いのテーマ＊

健康・福祉・環境部会	産業・観光・移住部会	教育・文化部会	防災・建設・行財政部会
健康	農業の活性化	学びの特色と発信	安心・安全
医療	商業の活性化	学習と通学の関係	消防対策
スローフード	工業の活性化	子どもの現状	防災対策
交流	雇用	飯舘らしさ	足の確保
移動	食	社会教育	生活利便性
暮らし	観光	文化・芸能	住環境
介護サービス	景観	大人の交流	景観整備
子育て支援	移動	人材	村の自立
環境	移住定住	施設	移住・定住の促進
ごみ処理・資源環境	生活利便施設		広域的な連携
ペット	地域コミュニティ		行政区の再編
村内のバリアフリー	関係人口の拡大		

地域別懇談会が始まりました

11月21日に開かれた「飯樋四区」の地域別懇談会

全５回の地域別懇談会が始まりました。初回は11月21日、飯樋四区（飯樋町／前田・八和木／大久保・外内／上飯樋）の懇談会です。飯樋町集会所に約30人が集まり、現段階の資料をもとに、意見やアイデアを述べ合いました。残りの４回も12月中に実施されます。ぜひご参加ください。新しい村づくりについて、思いや意見を語り合っていきましょう。

日　時	地　区　名	会　場
11月21日(木)午後１時30分	飯樋四区	飯樋町集会所
12月14日(土)午前10時	草野　深谷　伊丹沢　関沢　小宮　宮内	交流センター「ふれ愛館」
12月14日(土)午後１時30分	比曽　長泥　蕨平	交流センター「ふれ愛館」
12月21日(土)午前10時	八木沢・芦原　佐須　大倉	交流センター「ふれ愛館」
12月21日(土)午後１時30分	関根・松塚　臼石　前田　二枚橋・須萱	交流センター「ふれ愛館」

認知症サポーターになりませんか

お風呂に入ってほっとすると、悲しい訳でもないのに、ポロポロ涙が出てくるの。これがストレスなんだろうな…と思います。介護の体験者同士で「心の中の苦しみ」を話せる場所が必要だと思います。

誰もが直面するかも知れない 認知症介護の悩み

母が認知症です。周りから「無理しないで」と言ってもらい、介護サービスを「使っていいんだ」と思えるようになりました。リフレッシュすれば、また、よく接することができる…そう感じています。

自分のことはいつも後回し。腹を立ててしまう自分に腹を立てたり、全部自分に返ってきて…。これからますます大変かな、自分もなってしまったらどうしよう…と心配も尽きません。

私には当たりが強いのに、周りにばかり気を使う母。一緒にいるのが、すごく苦しくなります。かと言って、言い返すとシュンとしてしまうのがかわいそうで。自分が変わらないと…と思っています。

自分の家族だから、初めは周りに隠していたんです。でも、それが原因でいろいろ誤解を受けるようになって、話すことにしました。今は「言っていいんだ」と思えるようになりました。

村の「ゆずカフェ」で介護者の皆さんが思いを語り合いました

ゆずカフェ：認知症の方やご家族、専門職、認知症に関心のある方などが集まりおしゃべりします

次回は１月に開催予定。
詳しくはお知らせ版でお伝えします。

●認知症サポーター養成講座

支える家族に 地域で寄り添いたい

実際に介護をされている方から「認知症のことをいろいろ学んでも、家の中ではそううまくいかないものです」と言われることがあります。そうですよね。認知症の症状はさまざまで、その介護には「正解」がありません。認知症の家族を介護している方は、周りの人にどこまで話したらいいかも悩んでいます。

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、偏見を持たずに、認知症の人やその家族をあたたかく見守り応援する人のこと。飯舘村にはもともとそういう支え合いがありますよね。そのやさしさを伝え合っていくことが大切なんだと思います。

講師　宗形初枝 さん
認知症キャラバンメイト
郡山市医療介護病院看護部長

支え合う介護を目指します

村地域包括支援センターでは、年に数回、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。また、認知症の方を支えるご家族の相談を受け付け、適切な支援に結びつける活動も行っています。また「物忘れかな？大丈夫かな？」というご本人の不安にもお答えします。どうぞ気軽に、まずはご相談ください。

問 **飯舘村地域包括支援センター**
☎0244-42-1626
（地域活性化センターいちばん館内）

介護・福祉に関する相談は

医療・福祉に関する総合的な相談に応じる他、介護保険制度のサービスや各種福祉サービスを利用する時の窓口です。

問 **健康福祉課福祉係**
☎0244-42-1633
（地域活性化センターいちばん館内）

つながりを大切にしていこう

村社会福祉協議会は、生活支援相談員による見守り相談活動や、家族介護支援事業を行っています。サポートセンター「つながっぺ」の運営も行っています。

問 **飯舘村社会福祉協議会**
☎0244-42-1021
（陽だまりの家）

問 **サポートセンター「つながっぺ」**
☎0244-26-5207
（いいたてクリニックに併設）

飯舘村認知症者等QRコード活用見守り事業

認知症の高齢者等が保護された時に、早期に身元が判明するQRコードのシールを交付しています。

シールはベルトやバッグ、その他さまざまな素材の持ち物に貼ることができます。スマートフォンなどでQRコードを読み取ると、連絡先（コールセンター）が表示され、連絡を受けたコールセンターが、関係機関と連携して保護にあたります。

〈利用対象〉「認知症者等のうち村内に住所を有する方」を介護する親族や支援者が対象。
〈利用料金〉無料です。１シート1,000円（税別）で追加購入することもできます。
〈利用手続〉健康福祉課☎0244-42-1633
村地域包括支援センター☎0244-42-1626
または担当ケアマネージャーを通してお申し込みください。約２週間で、交付します。

村では随時「認知症サポーター養成講座」を開いています。認知症の方とその家族をあたたかく見守りサポートができるよう、認知症という病気の成り立ちや、認知症の方の行動の特徴、コミュニケーションのコツなどを学びます。

ハロウィンパレードで園児と村民が笑顔の交流

いいたてホームでは、お菓子のお礼に歌をプレゼントした子ども達。「また来てね」と約束の握手

10月29日、「までいの里のこども園」の園児達が、ハロウィンパレードを楽しみました。仮装をして園を出発した子ども達は、スポーツ公園を利用していた老人会の皆さんに手を振りながらパレードをスタート。いいたてホーム、いちばん館、村役場とめぐり、「お菓子をくれないと、いたずらしちゃうぞ〜!」と大きな声でアピールし、そのかわいらしさにメロメロの大人達から、たくさんのお菓子を受け取っていました。みんなを笑顔にしてしまう、抜群にキュートなパレードでした。

ふるさと住民復興応援ツアー ようこそ！飯舘村へ

役場の前庭に、シャクナゲの植栽をしていただきました。大きく育ってきれいに咲きますように

11月2日から、村内で、1泊2日の「ふるさと住民復興応援ツアー」が開催されました。このツアーは、「ふるさと住民」の皆さんに村を訪れていただく機会として、村の移住相談室が企画したもの。そば打ち体験や学校の視察などを行いながら、参加者の皆さんに、村での交流を楽しんでいただきました。県外のイベントで「ふるさと住民」に登録し初めて村を訪れたという参加者もいて、村に想いを寄せてくださる方とのつながりを深める新たな機会となりました。

カボチャのランタンを作ろう！「いいたてハロウィンだよ全員集合」

中に電灯を灯せるおしゃれなランタンです。自作のランタンを手にイイタネちゃんとの記念撮影

11月3日、交流センター「ふれ愛館」で、「いいたてハロウィンだよ全員集合!」が開かれました。役場の若手職員らでつくる「賑わいづくり検討委員会」の企画です。家族や友人のグループが集まり、カボチャのランタンづくりに挑戦しました。参加者たちは、油性マジックを使って、オレンジ色のカボチャに思い思いの表情を描き、くり抜く作業に奮闘。子どもも大人も一生懸命、協力しながら大カボチャをきれいにくり抜き、全グループが素敵なランタンを完成させました。

大人気のハーバリウム製作でデザインする楽しさを満喫

インテリア雑貨として大人気のハーバリウム。つくる楽しさを満喫しました

10月17日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「ハーバリウム教室」が開かれ、20人が参加しました。講師は、日本ハーバリウム協会の認定講師・宮谷理恵さんです。参加者は、好きな形の瓶とプリザーブドフラワーを選んで、制作をスタート。コツを教わりながらデザインを楽しみ、専用オイルを注ぎ入れて、作品を完成させました。選ぶ素材の組み合わせで、がらりと雰囲気の違う作品が誕生。「さらによい作品がつくりたい」「また講座を開いてほしい」と意欲的な声が相次ぎました。

相双TSUNAGARU（つながる）ふるさと住民の皆さんと交流

ふるさと住民：村に興味・関心のある方に登録いただき「ふるさと住民票」のカードを発行しています

それぞれが感じる村の魅力なども話題に。村外の方の視点が、新たな気づきにつながります

10月18日、東京都新宿区で、相双地方の合同イベント「相双TSUNAGARU」が開かれました。このイベントの中で、村は、「ふるさと住民」となっている方との交流会を企画。村の移住相談室の職員らが、来場した6人の方と、対話を通じて交流しました。交流は、リラックスした雰囲気の中で行われ、「村民の皆さんとの、あるいは支援者同士の触れ合いを大事にしたい」「村の復興に関わりたい」といった村への想いや、未来志向の提案などに、じっくりと耳を傾けることができました。

「風船バス」引退セレモニー ありがとう！ドリーム号

菅野拓真さん（小学６年）「避難先でもこのバスで通学しました。いつも乗っていたバスに多くの人の思いがあったことを知りました。これからも、自分の夢（ドリーム）に向かってがんばっていきたい」

色とりどりの風船を手にした小学生に見守られて役目を終えたバス。総走行距離は約25万㎞でした

10月27日、スクールバス「ドリーム号」の引退式が行われました。ドリーム号は、村が平成20年に、住民参加型ミニ公募債「までいな次世代育成村民債」を発行して購入したバスで、外装は当時の中学生がデザイン。中学校の部活動の遠征や校外活動で利用され、震災後は仮設校舎で学ぶ子ども達の登下校を支えました。式では、菅野村長が、資金を出し合った村民の思いなどを紹介し、代表児童が、運転手に感謝の花束を贈りました。※当時の村民債は現在の「いいたてっ子未来基金」に引き継がれています。

村は、村主催のイベントや村民の皆さんの取り組みを取材し、広報紙・ホームページ等に掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数でも総務課企画係までご連絡ください。

そのこころはっ

教えてください そのワケを

#7

村営笠石住宅の裏手に、手描きのかわいらしい看板があります。「**スクスクノビノビこども農園**」

奥をのぞくと、いろいろな野菜が元気に育ち、雑穀がハセ掛けされていて、珍しい「陸稲（おかぼ※水田ではなく畑で栽培される稲）」も実っています。「これは一体誰が」と近所の方に尋ねると…。

笠石住宅に暮らす子ども達が畑仕事を手伝って、その代わりに好きな時に収穫してよいことになっている小さな農園だと判明。

そして、主に農園の管理をして、子ども達に農業を教えていたのは、昨年、村に移住した大垣内力雄さん（前田・八和木）でした。大垣内さんは当初、笠石住宅に暮らし、この畑で野菜をつくっていました。そこに子ども達が遊びに来て、一緒に土いじりをしていたそうです。この小さな農園は、その延長で、交流の場となりました。畑の持ち主が、子ども達の要望に応えて、看板も立ててくれました。来年は何をつくるのでしょうか。楽しみですね。

スクスクノビノビ こども農園

大久保・外内

秋の県外イベントへ招かれて

出展を通して元気を発信！

飯舘村商工会や「いいたて村の道の駅までい館」の協力を得ながら、県外の秋のイベントに出展しました。環境にやさしい暮らしをテーマにした「GTFグリーンチャレンジデー」、村の事業に協力をいただいている赤塚植物園のイベント、応援職員の派遣などで支援をいただいている埼玉県吉川市の「吉川市民まつり」へ。村の物産や自慢の味を携えて、感謝を伝え、村の元気も発信しました。

10/5・10/6
GTFグリーンチャレンジデー2019in新宿御苑
（東京都新宿区）

11/9・11/10
赤塚FFCの日
（三重県伊勢市）

11/17
吉川市民まつり
（埼玉県吉川市）

話題のパレット

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613

10月29日に「いいたてスポーツ公園」で開かれた「飯野地区老人クラブ連合会と飯舘村老人クラブ連合会とのグラウンド・ゴルフ交流会」。参加者が、プレーと昼食を共にして、親睦を深めました。

福島市飯野地区老人クラブ連合会からいただいた避難の間の支援と交流に感謝をこめて。木々が色づいたスポーツ公園に交流の輪が広がりました。

「までい写真館」の撮影も大好評！来場者が、宇沢千賀子さん（大久保・外内）アレンジの花と笑顔のコラボ。12月末まで館内展示中。

道の駅に出荷している「までい館生産者会」が豚汁の振る舞い！

10月27日、「いいたて村の道の駅までい館」の「収穫感謝祭」が開催されました。村民の農産物・工芸品はもちろん、「日本で最も美しい村」連合の三島町・北塩原村の特産品なども販売され賑わいました。

多くの卒業生も来場。来春の休校が見込まれる母校への想いや、懐かしい思い出が語られていました。

「（休校は）さびしいです。今日の紅葉祭にたくさん想いをこめました」と菅野真鈴さん（右端）

11月2日、相馬農業高校飯舘校の「紅葉祭」が福島市のサテライト校で開催されました。募集停止で3年生7人のみとなった在校生が力を合わせた美しい展示、工夫された催しに、称賛の声が集まりました。

「いいたてネットワーク」（横山秀人代表／前田・八和木）が、11月9日、「氣まぐれ茶屋ちえこ」で、店主の佐々木千榮子さん（佐須）を講師に、「炊き込みご飯と大福餅作りの交流会」を実施しました。

和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。右上が店主で講師の千榮子さん。

作り方をていねいに教わりました。あんこを餅でくるんで丸めて大福餅に。

大切な人へ想いを届けよう
年賀はがき販売開始セレモニー

11月1日、福島中央郵便局で、令和2年用年賀はがきの販売開始セレモニーが行われ、菅野村長とイイタネちゃん（飯舘村公式キャラクター）が招かれました。村が、オリジナルの年賀はがきにメッセージを託し、発信を行うのは今回が3回目です。菅野村長は、「年賀はがきは『贈り物』。大切な人に想いを届けてください」とあいさつし、「もしよろしければ村のはがきで」とPRしました。

村の年賀はがきは1枚につき5円お得な58円。県内各地の郵便局（簡易郵便局を除く）で購入ができます。

セレモニーで村の年賀はがきをセットした記念プレートを受け取る菅野村長（左）

おかげさまで
好評発売中です。
お求めはお早めに！

村の元気を全国にお伝えします。
たくさんの方にご協力をいただき
本当にありがとうございます。

問 総務課企画係 ☎0244（42）1613

11月の村の動きと主なできごと

1日・2020年用年賀はがき販売開始セレモニー（福島中央郵便局）
2日・相馬農業高校飯舘校「紅葉祭」（相馬農業高校飯舘校サテライト校）
2・3日・飯舘村ふるさと住民復興応援ツアー（村内各所・宿泊体験館きこり）
3日・農業者等との意見交換会（宿泊体験館きこり）
・第1回いいたてハロウィンだよ全員集合！（交流センター「ふれ愛館」）
7日・「ふくしま駅伝」結団式（交流センター「ふれ愛館」）
10日・令和2年度職員採用一次試験　追加募集（村役場）
・2019年度日本農業法学会学術大会・村内視察（村内各所）
15日・第6次総合振興計画策定委員会（村役場）
17日・「ふくしま駅伝」第31回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（白河市～福島市）
20日・第11回農業委員会定例総会（村役場）
・学校運営協議会（村役場）
21日・第6回長泥地区環境再生事業運営協議会（村役場）
・飯樋四区「第6次総合振興計画」懇談会（飯樋町集会所）
26日・定例教育委員会（村役場）
28日・第9回飯舘村議会臨時会（村役場議場）
29日・スマート農業・畜産業技術体験フェア（交流センター「ふれ愛館」）

入札結果をお知らせします

入札日／10月16日（単位：円）

工事（業務）の番号・名称	契約額（税込）	請負業者	完成予定
相馬仮設住宅遊具移設工事	1,969,000	㈱アネビー	令和元年11月下旬
令和３年度固定資産税評価替えに係る標準宅地鑑定評価業務	2,277,000	㈱北陽不動産鑑定事務所	令和２年３月下旬
ふくしま森林再生事業同意等取得等業務	4,675,000	飯舘村森林組合	令和２年３月下旬
飯舘村観光パンフレット作成業務	990,000	㈱SAGA DESIGN SEEDS	令和元年11月下旬
子育て支援センター修繕工事	48,730,000	庄司建設工業㈱	令和２年３月下旬
県道原町川俣線函渠工事に伴う農業集落排水管布設替え工事	23,136,300	荏原実業株式会社東北営業所	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）中迫伊丹沢線舗装工事	33,495,000	濱田建設工業㈱	令和２年３月下旬
豊栄佐須線道路改良工事	30,800,000	後藤建設工業㈱	令和２年３月下旬
河川等清掃業務（八木沢字下八木沢地内）	109,450,000	濱田建設工業㈱	令和２年３月下旬
河川等清掃業務（佐須字滑地内）	22,550,000	㈲渡建工業	令和２年３月下旬
河川等清掃業務（村内）	12,210,000	㈱英工務店	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）農業基盤整備工事　伊丹沢地区　第１回工事	46,739,000	㈱東栄	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）農業基盤整備工事　飯樋町地区　第１回工事	41,800,000	㈲渡建工業	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）農業基盤整備工事　前田・八和木地区　第１回工事	44,440,000	㈲福相建設	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）農業基盤整備工事　大久保・外内地区　第１回工事	40,645,000	㈱東栄	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）農業基盤整備工事　上飯樋地区　第１回工事	47,850,000	㈲福相建設	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）農業基盤整備工事　上飯樋地区　第２回工事	47,520,000	㈱英工務店	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）農業基盤整備工事　前田地区　第１回工事	33,880,000	濱田建設工業㈱	令和２年３月下旬
子育て支援センター修繕工事監理業務	3,080,000	松本建築設計事務所	令和２年３月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業（飯舘西部その1）農業用施設補修補足測量設計業務（取水堰）	11,770,000	㈱船橋コンサルタント	令和２年３月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業（飯舘西部その1）農業用施設補修補足測量設計業務（ため池補修）	10,780,000	㈱福建コンサルタント	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）測量設計業務	65,230,000	㈲武藤測量事務所	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その２）舗装工事測量設計業務	27,940,000	㈲武藤測量事務所	令和２年３月下旬
農業基盤整備促進事業　事業計画策定業務	10,010,000	福島県土地改良事業団体連合会	令和２年３月下旬
公共施設等総合管理計画策定支援業務	2,860,000	㈱福島県中央計算センター	令和２年３月下旬
地域おこし協力隊募集イベント業務	1,078,000	㈱ココロマチ	令和２年３月下旬

山津見神社
オオカミ天井絵

オオカミ達のさまざまなシーンが表情豊かに描かれています

飯舘村佐須字虎捕266
☎0244-42-0846
自由に拝観できます。
※社務所は午前９時～午後５時
　火曜日は休み

きてみて

飯舘村　山津見神社

「山・海・里」を守るとされ県の内外から信仰を集めています。全村避難中の平成25年に火災で拝殿を焼失しましたが、平成27年に再建。オオカミ天井絵は、多くの協力と連携を経て、東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室の手で復元されました。

神の使いとされる狼の姿は境内にも。

虎捕山の山頂に奥の宮があります。

創建の由緒は古く、11世紀にさかのぼります

源頼義が神託を得て、凶賊・橘墨虎（たちばなのすみとら）を討ち取ったと伝わる虎捕山

上田和昌さんの ラオス通信。 vol.7

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？上田さんのリポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！

上田さんは山梨県の出身。ラオス国立大学で活動する青年海外協力隊の隊員です。

急速な発展とエコヘルス教育（2）

近年ラオスで起きている社会問題の一つに「バナナラッシュ」があります。バナナラッシュは、外国人投資家が投資して、ラオス北部の山間地域にバナナ園を開拓したことにより起きた問題です。投資の話が出たときは、山間地域のあまり使われていない土地を高価な値段で貸すことができ、雇用を生み出すという、経済開発に貢献する願ってもない話でした。

しかし、実際に経営が始まると、投資家たちは、大量に生産し多くの利益を得るため、化学肥料や農薬を過度に使用しました。村人たちは、農薬が与える影響を知らずに使用を続けてしまい、そのために土地は枯れ、生活に使用していた川に農薬が流れ出し、最終的には、環境汚染が住民に健康被害をもたらしました。

開発は、人々の生活を豊かにする一方、人間の健康に悪影響を及ぼす可能性があります。ラオスでは、「エコヘルス教育」を、世界で初めて学校教育の教科に採用し、国内の社会背景を踏まえたうえで、健康というものを考えられるようにしていこうとしています。例えば「バナナラッシュ」のような問題を取り上げ、経済開発による環境への影響、そして、人間の健康への影響を考えます。同時に、それらが起こるステップを分析し、それぞれに、どういった対応ができるか、どうすれば健康被害を防げるかなどを「考える力」も養います。開発や発展を否定するのではなく、環境や健康への影響を考え調和を図ることの大切さを学んでいきます。

地球全体の課題として考えたいことですね。上田さんは、ラオスで、エコヘルス教育の教科書づくりにも関わっています。

次回は ラオスの小学校のようすを紹介します！

こころのぽけっと

遊ばないから、年を取る？

２年前、１０５才で亡くなられた日野原重明さんというお医者さんがおりました。１００才を過ぎても、現役の医師の仕事をして働いていた方です。

その日野原さん、１００才の頃だったと思いますが、全村避難中の仮設小学校に足を運んで頂きました。子どもたちと歌を歌ったり、ボールをけり合ったりして子どもたちを元気づけてくれたのでした。

全村避難の村へも足を運ばれ、現状を見た帰路の車中、私の説明に名刺をとり出し、一生懸命にメモを取っている姿にいたく感動し、かつ人生の生き方を学んだものでした。

もう１つ、学んだことがあります。ノーベル文学賞をとったバーナード・ショーという方の言葉に「年を取ったから遊ばなくなったのではなく、遊ばないから年を取るのだ」というのがあります。この言葉に「そうかもしれないな」「いやいや、そうだよな」というなずいてしまいます。特に飯舘村の年輩の方にとっては、避難生活とか、家族が離れ離れというとてつもない経験をしている方ばかりなので「少しでも何とかならないか」と思っているので、この言葉はぜひ、それぞれ心にとめて欲しいものです。私たちは年を重ねると「大人げない」と言われないように自分の行動にブレーキをかけてしまいがちです。でも、このバーナード・ショーの言葉どおり、楽しめることを自分で見つけ、そこに身をおくという行動力を持つことが「老人」にならない秘訣なのでありましょう。

大変な暮らしをした分、思いっ切り楽しんで、その中で生きがいを見つけ、美しく年を重ねていってもらいたいものと強く思っています。私も、日野原さんのようにはいきませんが、常に好奇心を忘れず、これから遊び方も覚えていかねば…ですね。

令和元年11月11日　飯舘村長　菅野　典雄

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
今野由菜（ゆな）ちゃん	直樹・麻衣	宮内
細山晴立（せいた）くん	巳幸・百合奈	飯樋町

すくすくと元気に育ってね

おくやみ

氏名	年齢	行政区
早川　キクノ	85	宮内
八巻　誠一郎	97	草野
佐藤　ツヤ	92	上飯樋
佐藤　善一	61	前田
伊藤　保	97	伊丹沢
只野　トイ	88	小宮
池田　実	84	蕨平
向山　ハツヨ	93	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

（令和元年10月31日現在）

人口	今月	（前月比）
男	2738人	（−7）
女	2754人	（−5）
計	5492人	（−12）
世帯数	1825戸	（+6）

10月1日～31日までの◆◆◆人口動態◆◆◆

転入	5人
転出	9人
出生	2人
死亡	10人

（住民基本台帳人口）

広報いいたて 令和元年12月号 No.670(毎月5日発行)
●発行 飯舘村 ●編集 総務課広報委員会 飯舘村役場 〒960-1892 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1 電話:0244-42-1611(代表) FAX:0244-42-1601

HOPES
ホープス セカンド
2nd

村の牛飼いの仲間になりたい

天野 浩樹 さん（大久保・外内）

相馬市在住の祖父の畜産業を引き継いだ天野さん。事業の拡大を志し家族で村に移住しました。２人の子ども達は「までいの里のこども園」に通っています。２月には第３子が誕生予定。

埼玉県の出身で、地元で建設業に就いていた天野さん。相馬市に住む父方の祖父から「こっちに来て、勤めながらでも手伝わないか」と誘われたのが就農のきっかけです。牛の品評会に出かけたり、技術指導を受けたりして、「牛の面白さ」に触れていきました。「牛をやろう。牛舎を増築して、牛を増やそう」。

その準備を進める中での震災。一時は牛の相場が下がりこのまま進むべきかを考えましたが、「器用じゃないので、やはり自分は牛一本でやろうと。祖父から畜産業の名義を委譲してもらいました」。そして、当時相馬市に避難をしていた佐藤一郎さん（大倉）と出会い、思いを語り合う中で、村への移住を考えるようになりました。

山田豊さん（関根・松塚）の牛舎の一部を間借りして牛を少しずつ運んでいます。「皆さんによくしていただいています」。天野さんの新しい牛舎の完成は、来年度中になる見込み。

家族での移住はこの10月。「嫁の後押しが大きかった」そうです。待機児童だった長男もこども園に通えるようになり、兄妹の絆も深まったそう。天野さんの牛舎は、村などの支援を受け伊丹沢地区に整備される予定です。「きちんと決まったら、地域の方にあいさつをして、集まりにも顔を出したい。耕作放棄地を減らし、ＷＣＳは営農組合のものを購入するなど、少しでもお役に立って、仲間にしてもらいながら頑張りたいと思います」。

※WCS：ホールクロップサイレージ

〈編集後記〉

●取材の帰り「待っててくれる人がいるんだから気をつけて帰りなよ」と声をかけていただき帰宅。何気ないひと言に、あたたかいご飯を食べたり、一緒に出かけたりする家族がそばに居てくれることはありがたいなあと改めて実感。寒い冬に心が温まりました。（木幡）

●役場の改修工事で職員駐車場が一時的にスポーツ公園に移されています。初めは「少し不便かな」と思いましたが、日々色を変える街路樹のコントラストを眺めたり、普段は話せない人と道すがら話せたり、夜は山の端まで広がる星空を見上げたりして、「歩く時間」には予想以上の楽しさが。どこに行くのも歩いていた子どもの頃もこんな感動を味わっていたなぁ…と思い出しました。（星）

the most beautiful villages in japan

飯舘村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。